

BIND

Vol.28

RENEWAL

2022.07.01

Close Up Interview

わたなべ たくや
工事部 職長 **渡邊 拓也**

特別コラム

ダイニッセイの大切な仲間へ贈る言葉
～池田誠さん、井手雅輝さんへ～

(仮称)DPL南砂新築工事

Topix

2022年4月入社の新入社員たちが大奮闘中!

**「新入社員研修で
学んだもの」とは**

2013年に株式会社ダイニッセイに新卒で入社し、工事部で活躍している渡邊拓也。今年で入社9年目を迎えたが、新鮮な気持ちを忘れず何事にもまっすぐに向き合ってきた。そんな渡邊に、入社のかっけから仕事の内容、今後の目標について聞いた。

神輿から鉄筋に

入社のかっけは、高校時代にたまたま手に取ったダイニッセイの求人パンフレット。何気ない気持ちで見学に行ったところ、採用決定！と告げられ、運命的に？就職先が決まった。

初めての仕事は早朝から始まった。眠い目をこすりながら現場へ行き、重い資材を担ぐ日々。筋肉痛で身体のおちこちが痛み、大変な仕事に就いてしまったと後悔した。だが、他のスタッフと協力して、汗を流して鉄筋を組み、何もなかった平らな土地に建物が完成していく様子に面白さを感じるようになっていく。この仕事の魅力にはまってしまった。



実は、仕事を好きになった理由の1つには、渡邊の「祭り好き」が関係しているという。コロナ前までは毎年2回、地元と隣町の祭りに必ず参加し、「ワッショイワッショイ！」と大声をあげて神輿を担いでいた。あるとき、鉄筋を運ぶ動作と神輿担ぎのイメージが一致し、重い鉄筋が苦ではなくなったという。

視点が変わった職長の経験

職長として初めて現場を任されたのは入社7年目、2年ほど前のことだ。千葉駅前の10階建マンションの地上工事を、先輩の山崎職長から引き継いだ。この経験は自身の視野を一気に広げるかっけになったという。

「それまでは自分から積極的に動くことはなく、指示されたことをこなすのが仕事だと思っていました。でも、職長になると、全体の作業の流れ、人員配置、安全対策など、あらゆる点に配慮しなければならない。同じ現場がまったく違うように映りました」。

作業が滞らないよう渡邊は、現場監督や他職、自社の仲間とのコミュニケーションをこまめにするように意識したという。その甲斐あって、初めて任された現場は問題なく終わり、一安心した。それ以降は、職長の下についてサブリーダーとして働くときも、職長目線で広い視野で現場を把握し、職長の指示を深く理解できるようになった。

工事部

わた なべ たく や

渡邊 拓也





後輩指導の難しさ

現場のまとめ役として、現在一番悩んでいるのは後輩の指導だ。余裕があるときは良いのだが、忙しくなってくるとつい口調が荒くなってしまふ。何度も同じことを質問されるとつい、「何回言わせるんだよ!」ときつい言葉が出ることも。ごく簡単な指示なのに勘違いされるケースも多い。「材料を移動して」と頼んだとき、これから作業する場所に材料を置かれてしまうと、「ちょっとは考えろよ」と思わず口にしそうになる。

だが、こちらが「指導」のつもりでも、言い方次第で相手を萎縮させてしまふ。「イライラ」せず、相手の技量や気持ちを考慮して正確に伝わるように。リーダーとして自分自身が成長しなければならない、と思うようになった。

とは言え、自分の新人時代は、1度言われた内容は覚えようと努力し、不明点はとりあえず聞いていたように思う。深く考えずに動いてしまう若手への要望をどう伝えれば良いのか迷う。だが今は、若手育成が会社の最重要命題であり…試行錯誤する日々である。

守るべき家族のためにも

コロナ前であれば、仕事のあとに後輩を誘って食事に行き、お互いの本音を確認し合う機会もあったが、当面は難しい。それに、渡邊には独身時代のように気軽

に人を誘えない事情があるのだ。プライベートでは3歳と0歳の子どもの父親。同じ親から生まれたのに、2人の成長速度が異なるのが不思議で、小さな発見に日々驚いているという。この子たちと奥さんのためなら、仕事の苦勞なんて何てことは無い。もっともっと頑張ろう!と思う。

今後の目標

小学校時代はソフトボール、中学高校時代は野球部で汗を流し、チームプレイにずっと携わってきた渡邊。野球を通して培った「周囲を観察する力」で先輩の仕事の方法を学び、自分の成長に役立ててきた。そして現場では、みんなと「チーム」を組み、共通の目標に向かって走り続けているような感覚で臨んでいる。

会社の部活動でも野球部に所属し、エースとして活躍中。コロナで活動の機会は減ったが、また以前のように大会に向けて一致団結する日が戻ってくることを願っている。新人が入部してくれれば、格好のコミュニケーションの場にもなるだろう。

今後の目標は、どの立場で携わる現場であれ「安全第一」を心がけ、全力を尽くすこと。いずれは渡邊が後輩の目標になるような人材に成長していくに違いない。



BIND

渡邊 拓也さん って どんなひと？

巻頭インタビューを飾った渡邊拓也さんの魅力にもっと迫りましょう! 仕事やプライベートといった様々な面をよく知るお二人からお話を伺いました。



工事部 職長
あいかわ せい いち
相川 誠一さん

渡邊さんへ一言

今は私と一緒に仕事をしていますが、いずれ職長として独り立ちする時が来ると思います。そのときに向けて、今以上に頑張ってください!

第一印象と現在の印象

見た目からは話じづらそうな印象を受けましたが、実際話してみるとノリが良く、話しやすいと思いました。現在は付き合いが約5年と長くなったこともあり、プライベートのことなど色々な話をしています。話の内容は、結婚後の家庭の話や、共通の趣味である野球の話などです。

忘れられない思い出

昨年末に少人数で飲みに行ったとき、隣同士の席になりました。そこではあまり仕事の話はせずに、普段できない話など雑談を色々楽しみました。

ずばり! あなたにとって渡邊さんはどんな存在?

一緒に仕事をしており、右腕として支えてくれる存在です。私が仕事に周りが見えなくなっても、拓也くんが問題点に気がついて教えてくれたり、私に知らないところで打ち合わせをして話を進めてくれたりします。

第一印象と現在の印象

2021年のお盆くらいまでの1年弱、一緒に現場で働いていましたが、最初の印象は、正直よく覚えていません(笑) 真面目に仕事に取り組んでいるな、という印象でした!

渡邊さんへ一言

これからも、会社のためはもちろんですが、自分のためにも頑張ってください。会社のためになれば、自ずとスキルアップもでき、自分のためにもなるからです。仕事を通して、ぜひ成長してってください!

忘れられない思い出

一緒に現場では、10階建てのマンションと、大学のキャンパスに携わっていました。私の方が先輩ではありますが、拓也も会社に入ってもう10年くらい経っていますから、特にイチから教えるということはありません。何か困ったことがあれば手を差し伸べるという感じでした。2人とも無口なので、昼休みに他愛のない雑談を交わしたことを覚えています。

ずばり! あなたにとって渡邊さんはどんな存在?

今は別々の現場ですが、違う現場でもお互い頑張っているな、と思える存在です。



工事部 職長
やまざき まさのり
山崎 正法さん



新入社員研修 REPORT!

新入社員の登竜門とも言える「クレーン」「玉掛け」「フルハーネス」「足場の組み立て」「高所作業者」の5つの資格取得を目指す5月研修。今回は、2022年4月に入社し、この最初の関門を無事突破した新入社員の皆さんに研修の思い出を語っていただきました!



工事部

かつ また る あ

勝股 琉亜さん

研修を終えてみての感想

実践の中で覚えていく楽しみ

今回、「玉掛け」の研修が一番楽しく、記憶に残っています。工業高校で学んだことを実際に実践の中で覚えていくのは面白く、どの研修も充実していました。他社の新入社員も一緒に参加していましたが、鉄筋の組み立てではダイニッセイのメンバーが難なくこなしていて、頼もしさを感じました。研修中、唯一辛かったことを挙げると最寄りにコンビニがなかったことです。



今後チャレンジしたいこと!

『最終的には社長…!?!』

まずは現場の仕事をしっかり覚えて、できる限り多くの資格を取得したいと思います。そして、いずれは職人の中でもチームを引っ張る立ち場になり、最終的には社長を目指します!

今後の目標

今担当させてもらっている現場を早く覚えて、先輩についていけるようになりたいと思っています。ぜひ、ビシバシ鍛えてください! 地元から離れて働き始めた自分を応援してくれている両親のためにも、3、40代での起業も実現させます!



工事部

はや の こう き

早野 航輝さん

研修を終えてみての感想

完成したときの達成感!

最も印象に残っているのは、鉄筋組立の練習です。1級の組立は2級よりも複雑さが増していました。非常に難しいと感じましたが、頭をフル回転させて取り組み、完成したときの達成感は何とも言えないものが! また、玉掛けは簡単そうに見えて、奥が深いことを知りました。現場での使用頻度も高いと思うので、しっかりと知識や技術を習得していきたいと思っています。



今後チャレンジしたいこと!

『将来は職長も』

まずは仕事を覚えることが目標です。そして、将来的には職長も狙っていきたいと思っています! そのためにも、わからないことをそのままにしておくわけにはいきません。先輩の作業を見ながら学ぶことも多く、質問ばかりしていますが、優しく教えてくれることに感謝しています。

今後の目標

高校3年で鉄筋施工技能士2級を取得しました。1級を受験するには2年の実務経験が必要なので、2年後の一発合格を目指して、日々精進してまいります。



工事部

まつしま ひろと

松島 大翔さん

研修を終えてみての感想

苦労した実技

玉掛けや高所作業、クレーン、鉄筋作業の実技が大変でした。まず玉掛けに関しては、テスト中の10分間に、約20パターンもある合図を間違えずに出し続けるのが難しく、高所作業については、ゴンドラを手繰り寄せる距離や角度の感覚が上手くつかめずに戸惑いました。そして、鉄筋施工の練習時、1級技能士検定の資格課題内容に一人で臨むことになったのですが、その難易度の高さが印象に残っています。とても大掛かりな作業だったので、結局2時間近くかかってしまいました。また、足場の組立に関しては、先生が昔職をお務めされていた方だったので、実体験なども交えた講習をしていただき大変勉強になりました。



今後チャレンジしたいこと!

『1級技能士の資格取得』

今私は2級技能士の資格を持っているのですが、まずは1級を取得します。そして、職長になるためにさまざまなスキルを培っていききたいと思います!

今後の目標

現場で一人前として認められるのが目標です。そして、鉄筋技能を競う全国大会で優勝を目指します!



工事部

あかみね しょうた

阿賀嶺 匠太さん

研修を終えてみての感想

初めて1人でできた達成感!

高所作業車やクレーンといった重機を初めて扱ったときは感動しました。「自分が動かしているんだ!」という実感がヒシヒシと湧いて……。徐々に慣れるなかで、クレーン車は速度をつけ過ぎると吊り荷が降れるので、その繊細な加減を難しく感じました。あと、2級鉄筋を初めて1人で組めたときは達成感がありました。鉄筋を触って1か月、鉄筋と鉄筋をワイヤで結ぶ結束が少しでも早くできるよう練習してきた甲斐がありました。



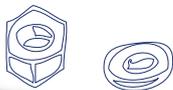
今後チャレンジしたいこと!

『施工図面を書く』

施工図、図面をいつか書いてみたい!という思いがあります。図面を書く上で、今回の研修で得た経験を活かしたいと思っています。例えば、1本の長い鉄筋を図面に書いてしまうと、実際にその長さで施工しなければなりません。しかし、鉄筋を2本にすれば作業しやすくなります。現場で実際にどう施工するのか、現場で重機はどう動くのか、そういった知識としてこの研修は役立つと感じています。

今後の目標

今回の研修では学ぶことが本当に多く、分かってはいましたが技術的にも知識的にも劣っていることを痛感しました。研修では他社の方とも一緒でしたが、同期がすでに持っている資格を他社の方は持ってなかったりして、自分の置かれているレベルも分かりました。これから鉄筋を組む技術や図面を書く知識など貪欲に吸収して自分を磨いていきます。



池田誠さんへ贈る言葉

間違いなく業界を代表する職長であられた池田誠さんへ、池田会長、そして共にお仕事をされてきた靄田悌さんよりメッセージをいただきました。
ともに戦ってきた戦友への想い、尊敬の念についてお話いただいております。
謹んでお悔やみ申し上げます。

池田会長より

誠職長は、昭和41年に私に遅れること3年で鉄筋業界に入職して、昭和48年の会社設立当時には、すでに職長として活躍していました。そして昭和51年には、当時千葉県で最大の複合商業施設(サンベデック)の建設に携わっていただきました。鉄筋工事は13000トンものボリュームに達するほど大規模で、S工務店を初めとした複数の業者による分業の結果、当社は1200トンを受注しました。しかし、人材確保の問題やコスト面などを鑑み、同業数社が受注自辞退となり、最終的には全体の約半分となる6500トンをダイニッセイが担当することになりました。

そして、本件の施工をご評価いただいたことにより、「船橋ららぽーとショッピングセンター」の受注および『大宮ソニックシティ』6000トンの職長に指名され、その後も、新宿高層ビル群の走りとなる淀橋開発や、足立区庁舎の現場職長として活躍しました。また、新砂物流がご本人の最後の現場となりましたが、物流倉庫に関しては十数件の大型現場を職長として受け持たれました。

その他、大林組においても、東大病院4500トン単独受注し、職長として活躍。その評価を受け、新宿の『国立国際医療研究センター』13000トンの単独受注につながりました。本案件は大型工事と位置づけられ、型枠工事会社4社、鳶土工会社は3社と決まっています。

したが、鉄筋工事において、誠職長の着任を条件として1社での受注が可能となり、施工が実現しました。

そして、スカイツリー横の『東京スカイツリーイーストタワー』建設時の職長を務め、人望も厚く、ほとんどの現場でまとめ役の職長会会長を歴任し、最後となった新砂物流では、職長会顧問も務められました。

まさしく当社のスローガンである、「技術力で仕事を勝ち取る」を実践した職長でした。会社においては数多くの職長、職人を育て上げ、現在はその人たちが活躍しています。

3年ほど前に体調不良を訴えたため、それまでの現場業務から後進の指導育成にあたっていましたが、2年前より入院を繰り返し、本年3月18日に帰らぬ人となりました。今後も更に後進指導のために尽力してほしかったのですが、本当に残念でなりません。誠所長は間違いなく日本一の職長であったと胸を張って言うことができます。本当に今までありがとうございました。

つるたやすし 靄田悌さんより

長い間本当にお疲れさまでした。同じ現場で一緒にいた際には、誠所長に大変多くのことを勉強させていただきました。まだまだ一緒に仕事をしなかったと思っています。本当にありがとうございました。



井手くんへ贈る言葉

約10年間、ダイニッセイで働き続けてきてくれた大切な仲間である井手くんへ、池田社長と同期の宮原さんからメッセージをいただきました。

寂しく、悲しく、悔しい思いでいつぱいですが、井手くんに恥じない仕事をダイニッセイの社員一同、続けて参りましょう。
謹んでお悔やみ申し上げます。

池田社長より

井手くんは恥ずかしがり屋で、なんでも器用にこなせるタイプではなかったと思います。けれども一番に思い出すのは、皆があまりやりたがらない仕事を、いつも嫌な顔をせずやってくれている姿でした。そしていられキャラで、人気者。社内外問わずみんなに愛されていたと思います。お酒の席でもいつもニコニコしながら飲んでいて、送別会など会社のイベントには必ず顔を出してくれました。

照れ屋で、いつもはにかんだような笑顔で。作業着はいつも汚くて、部屋も汚くて。髪もぼさぼさで、私が「髪切ってこい！」と言うとすぐ短く切ってきたことがありました。井手くんとの思い出を振り返ると数え切れませんが、その井手くんの人柄の良さにみんな本当に頼りにしていたと思いますし、ダイニッセイにとっ

てかかせない存在でした。
井手くんは、高校を出てからの10年間、ずっと当社で働いてくれました。当社以外で働いたことがありませんでした。井手くんのためにも、井手くんが「この会社において良かったな」と思えるような会社にしていかねればと思っています。長く勤め続けてくれることが一番大事だと私は思っています。それをしてくれた井手くん。大変感謝しています。

どうか安らかに。井手くんに恥じないような仕事をダイニッセイ一同やっつけていきたいと思います。

最後に。常に安全に気をつけていても、予想もしないような事故が起こります。今後また同じようなことが決して起こらぬよう、当社としても業界としても、毎日安全に向けて行動しなければならぬと強く思っています。

宮原 雅敏さんより

井手くんとの出会いは約10年前の入社式でした。初めての印象は大人しい人なのかなと思っていました。実際に話してみると、とてもよく話す人で、明るく周りの人に好かれるような性格でした。とても真面目な性格で、仕事を休んだ日はほぼ見たことがないくらい真摯に取り組んでいました。最終的に残った同期3人のうちの1人で、仕事のことや愚痴など、同期でしか話せないようなこともお酒を飲みながら話す夜もありました。もう会えないと思うと、とても悲しく寂しい思いでいっぱいです。これからは、井手くんが最後までこの会社で仕事をしていた良かったと思えるように、井手くんの分も一生懸命頑張っていきたいと思っています。



「Evolution Project」

進化プロジェクト

就業形態の改革と共に取り組んでいる「人事評価制度」。導入から2年が経過し、様々な課題が浮き彫りになってきました。同じく、6月にはコイル鉄筋加工機の導入も始まり、より一層の組織の進化に向けて進んでいます。ダイニッセイの新たなステージへの挑戦に向けて、池田社長にお話を伺いました！

Evolution 1

「人事評価制度」の今までとこれから

浮き彫りになった課題

「それぞれの頑張りに対する正しい評価」

人事評価制度を導入して2年目が終わりました。社員の皆さんがこの制度を当然として捉えるようになってきた一方、課題も見えてきました。制度の明瞭さと、皆さんの頑張りの評価への正しい反映です。そのために、まずは**目標設定の具体化が必要**だと考えます。各等級にあった具体的目標とは何か、どのように目標を管理していくのか。これらの指

標を作り、明確に表したいと思っています。抽象的な目標では、仕事への姿勢だけを重視するようになり、精神論に行き着いてしまいます。正しい評価をするためには、スタートである目標設定に数値的(すべてが数値では表せませんが)具体性を持たせることが必須。この改善に今後取り組んでいきますので、皆さん協力をお願いします。

制度導入後に見られた嬉しい変化

目標設定には、「**部下・後輩への育成指導**」を皆さんに**必ず入れていただきたいと考えています**。会社が未来へ躍進するためには、若手の育成と定着が重要だからです。そんな中、制度導入後、良い動向も見られます。それは他者への意識です。自分が評価する部下や後輩が異動後も、現場での動きを確認したり、社内でコミュニケーションを取ったりしている姿が見受けられます。皆さんの部下・後輩の育成意識が確実に高まってきていると感じています。

正当で平等な評価を追い求め、今後も改善を繰り返しながらよりよい制度へと進化をさせたいと思っています。



Evolution 2

「コイル鉄筋加工機」の導入

導入の背景、そして狙う効果とは

導入の背景は、加工技術の熟練者が減りつつある現状、工場全体の生産性の向上、そして目覚ましい技術進歩にあわせた我々の進歩の必要性からです。手間がかかる仕事は心身ともに皆さんの負担となり、品質や安全にも関わってきます。この負担を機械の導入によって取り除くことができるならば、やるべきことだと考えました。ダイニッセイにとっては大変大きな投資です。またもう1つの背景として、コイル鉄筋は他の鉄材と比べて端材が大変少ないこともあります。いわばサステナブルな材料なのです。材料が高騰する中、無駄を生まず、SDGsの一環として社会的責任も果たすことができる。この導入は、企業姿勢としてアピールでき、厳しい競争の中で他社との差別化にもなります。



▲コイル鉄筋加工機

◀コイル鉄筋加工機導入の様子

業界全体での躍進を目指して

コイル鉄筋加工機を知るきっかけにもなった同業者の方から色々な手ほどきを受け、当社から視察やトレーニングにも行かせていただいています。コイルメーカーからは販路拡大の期待を受けています。同業の仲間に恵まれていることを実感するとともに、業界全体で未来への躍進を目指していきたいと思っています。

コイル鉄筋加工機の導入により、生産性の向上、社員の皆さんの負担軽減、そして仕事が属人化せず誰もが活躍できる場が広がることを期待し、ぜひ皆さんに活用してもらいたいです。

Evolution 3

「ものづくり大学 インターンシップ」開催！

ものづくり大学の授業の一環として、2年生時に企業へのインターンシップを実働40日間の指定を行っています。期間は2022年6月15日～2022年8月11日まで。

インターンシップを迎え入れた経緯としては、建設業への若手人材不足が深刻化しており、少しでもこの業界に興味を持ってもらえるようにするとともに、自社のイメージアップ、そして卒業後の就職先の選択肢に入れてもらえたら、という狙いがあり実施しています。今年は2名の学生に参加してもらいました。



参加してくれた
学生さん



たきぐち はると
滝口 遼大さん

ふじしろ こうへい
藤代 康平さん

DAINISAY BOARD!!

日々会社の中で行われる様々な取り組みや、イベント、トピックスをご紹介します。新しくダイニッセイの寮の管理をしてくださる松田さん夫妻のご紹介や、ベトナム実習生のご紹介など、今月も内容盛り沢山でお届けします!



2022年 安全衛生大会について

令和4年度の「安全衛生推進大会・技術研修会」が今年も開催されました。今年もコロナ禍での開催となり、少人数及びリモートで各人とモニターを繋いで行う形となりました。

安全衛生推進大会・技術研修会の様子/2022年4月23日(土)開催

1.技術研修

2022年スローガン

やり抜く力で強くなる!

- ・厳しい受注条件により高い目標が求められる
- ・目標を達成するためにやり抜く力を身に付ける

❗ 改めて注意喚起! やるべき準備をしていないとミスは起きてしまう!

- ☑ 職長一人だけではミスは防げない!
- ☑ 職長一人ではなく分担して常にチェック機能を働かせる!
- ☑ 4週8休制度により職長も休むようになる

その時にサポートが出来るようにしておく

若手に自覚を促し
品質ミスをなくしましょう!

2.安全作業の基本教育

現場ルールは過去の災害事例に基づき決められています!
一人一人がやるべきことをやりルールを守り災害ゼロの達成を!

目標 『災害ゼロ』……重大な災害絶対ゼロ!

- ① 令和3年度災害報告
- ② 運転者アルコールチェック義務化
- ③ 私病による現場での災害
- ④ フルハーネス等墜落制止用器具・新規格品について。

3.安全表彰及び特別表彰

皆さん受賞おめでとうございます! /

安全優秀賞

みやうち じゅきや
宮内 樹希弥さん



Comment

これからも安全第一で、自分自身だけでなく一緒に作業している皆が毎日無事に怪我無く家に帰れるように気配り目配りをして、これからも無事故無災害を継続していきたいと思います。ありがとうございました。

安全優秀賞協力会社

ちば いくお
千葉 育男さん [千葉鉄建]



Comment

ありがとうございます。現在五井火力の現場で水処理エリアを担当しています。周りで働く作業員への安全にも気を配り、今年度も安全作業に努めていきます。

特別賞

のろあつし
野呂 敦志さん

(2021年TETSU-1GP千葉大会優勝)



Comment

ありがとうございます。コロナの影響で全国大会が今年の7月24日に延期しました。しっかり準備を整え、千葉県代表の名に恥じないよう頑張ります。応援よろしくお祈いします。

特別功労賞

いけだまさき
池田 芳輝さん



Comment

本日は特別功労賞をいただきありがとうございました。勤続47年、大変な時期もありましたがそのひとつひとつが自分を成長させてくれた教材だと思います。サブリーダー、職長、総合職長それぞれの立場で困難なことがあります。苦勞して乗り越えることが自分のスキルになります。苦勞して下さい。もう少し会社にお世話になります。少しでもみんなのフォローが出来たらと思っています。



ダイニッセイの寮の管理をさせていただきます!

ダイニッセイの新しい寮の管理をしてくださっている松田さん夫妻をご紹介します。今後も多くのダイニッセイの社員がお世話になることでしょう。お会いした際は元気に挨拶をするようにしてくださいね!

松田さんご夫妻▶



まつだ みわ
松田 美和さん

まつだ としお
松田 俊雄さん



おかえり!ベトナム実習生が帰ってきました!



Chào mừng!&Chào mừng trở lại!

(ようこそ!&おかえり!)

また一緒に働くことができ嬉しいです!引き続き頑張りましょう!



ゲン ニャット クイ



ユオン ミンユア



ドアン ミンヒエウ



ゲン ズイカン



ゲン タンルアン



ズオン バアンヒエウ



レー チュンギア



入社式レポート

2022年4月度入社の新入社員を迎えるべく、入社式が開催されました!前号でもお伝えしたように今年の新入社員は全部で4名おります。若手の育成こそダイニッセイの新たなる使命ですので、社員全員で育てていくつもりで、一緒に頑張りましょう!

